

令和2年度 射水市健康づくり推進協議会会議録

日時：令和2年11月12日（木）午後1時30分～2時45分

場所：救急薬品市民交流プラザ3階1A・1B会議室

出席者：委員15名

1 議題及び会議の結果

(1) 令和2年度保健事業の概要について

母子保健推進費、がん対策推進費、予防接種費等11事業について新規事業を中心に説明した。

(2) 第2次射水市健康増進プランによる取組の進捗状況について

第2次射水市健康増進プラン数値目標の現状値、取組状況について報告した。

数値目標の現状値では、基本目標である健康寿命は延伸していること、3つの基本的方向の14分野について報告した。

取組状況では、庁内関係各課の令和元年度の事業実績、令和2年度の実施状況を報告した。

(3) 重点項目（がん・糖尿病・こころの健康）の概要について

①がん対策推進事業について、一次予防としてがん予防の普及啓発、二次予防として受診しやすい体制の整備、効率的・効果的な受診勧奨等の取組内容を説明した。

②糖尿病対策について、健康増進事業、糖尿病重症化予防事業、糖尿病性腎症重症化予防事業、さらに今年度から実施した高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業について説明した。

③こころの健康づくり事業について、こころの健康相談、ゲートキーパー養成講座等の開催、「受け手・支え手支援ガイド（案）」（冊子）について説明した。

(4) その他

2 報告事項、協議事項及び会議資料

【審議事項】

(1) 令和2年度保健事業の概要について (資料1)

(2) 第2次射水市健康増進プランによる取組の進捗状況について (資料2)

(3) 重点項目（がん・糖尿病・こころの健康）の概要について (資料3)

(4) その他

【資料】

- ・資料1 令和2年度保健事業の概要について
- ・資料2-① 第2次射水市健康増進プランにおける数値目標現状報告
- ・資料2-② 第2次射水市健康増進プランの取組状況
- ・資料3 令和2年度がん対策・糖尿病対策・こころの健康づくり事業について
令和元年度 保健事業のあらまし
第2次射水市健康増進プラン（概要版）
- ・参考資料1 射水市健康増進プラン推進協議会名簿
- ・参考資料2 射水市健康づくり推進協議会条例

3 会議内容

(1) 開会

- ・配付資料の確認等

(2) 会議成立報告

- ・委員16名に対し15名の出席があり、本会議が成立している事を報告

(3) 会長あいさつ

(4) 審議事項

- ・事務局より資料説明
- ・質疑応答

質疑応答

【会長】

事務局からの説明について委員の皆様よりご意見・ご質問を伺いたい。
確認資料1-9 予防接種費で子宮頸がんワクチンは意図的に抜いてあるのか？

【事務局】

記載漏れ。

【会長】

「子宮頸がんワクチンは副反応と重症化の方がいるということで積極的な接種を控えましょう」ということであったが、沢山の資料等が集まって全国的に接種しても大丈夫だということだ。積極的に推奨はしないが「子宮頸がんワクチンは定期予防接種であることは皆さんにお伝えする」ということになり、個別に射水市でも「子宮頸がんワクチンは定期予防接種です」とお伝えした。

今年度から小児科でも子宮頸がんワクチンを希望する方が少しずつ増加している。

「20代・30代の女性にとって子宮頸がんは妊娠・出産にも関わってくるため、少子化対策としては大切なことであろう」という位置づけで、県の医師会・射水市医師会も、積極的に勧奨はしないが接種する流れになっている。

いろいろな事業がコロナの為に中止になることがあった。糖尿病 Day は、毎年11月に行い市民にも受け入れられて参加人数がだんだん増えてきている。今年は中止になったが、射水ケーブルテレビの枠で情報発信する事になった。しかし、来年度は未定である。糖尿病対策については、糖尿病専門医医師グループ・射水市保健センター・保険年金課で積極的に計画を立て行っているが成果につなげていくことが難しい。集まっている方々（委員）の協力もお願いしたい。

検（健）診もコロナの為に特に胃内視鏡検査は気を使わなければならなく開始が遅れたが、現在は安全に行っている。検診は早期に発見しなければならないため、健診の啓発も協力をお願いしたい。

歯科について意見はないか？

【委員】

今年はコロナで歯科健診は後半から開始となった。学校ではむし歯が減っていない。また、普及啓発

に関しては（感染予防のため）控える傾向があった。コロナで肺炎になることは知られているが、歯科関係では、誤嚥性肺炎・肺炎につながるような口腔のバイ菌等に関して（関係があることを）理解がされていない部分があり、口の中が汚れると重篤化を招くということを認識していただくようにしていないといけない。資料ではむし歯が減っているとなっているが、増えている傾向があった。

【会長】

学校・保育園はどうか？

【委員】

コロナの影響で学校では歯みがきをしていない。唾を吐くと（感染が）危ないため、うがい程度にしている。むし歯が増えているのであれば歯みがきをしなければいけない、また、変わらないのであれば暫くうがいで行う。どちらにしようか迷っている。

【委員】

学校では洗口・うがいで唾が飛んでしまうということで中止していたが、最近はかなり行われるようになったと聞いている。工夫やマニュアルで飛ばないようにして再び開始するようになった。しかし、行われていないところもある。各学校の状態や人数によって難しい学校もある。

【会長】

各学校によっていろいろあるようではあるが、全国では第3波といわれている。再開は、地域毎で判断していかないといけない。富山県、あるいは射水市内では患者の発生を見ながら判断していく。比較的小児にはインフルエンザのような流行はしないとされているが、ケースバイケースのところがある。「3密を回避しながら、できる範囲内で日頃よりやっていたことを再開していく」時期と思う。

【委員】

口腔ケアについて、学校が休みであったため、家庭の時間が長くなりむし歯の発生の因子が高まっているのではないかと考える。また、学校で行う歯みがきが唯一の歯磨きというお子さんも結構いると聞く。

視点を変えて、保健だより等で「学校でのフッ素洗口や学校での歯磨きが出来なくなり、むし歯が増える傾向があるため家庭での歯みがきを徹底しましょう」など父兄や子供達にも健康教育として情報は必要ではないか？生活習慣として身につくような仕掛けを学校で行っていただくと嬉しい。

【会長】

学校での歯みがきは、あくまでも家で行っていることを前提にしているが、このような意見が聞けたことは重要である。

食育においても小学生の父母の世代の生活習慣の中に、「あたり前が入っていないこともある」ことが問題になっており、小学校から父母に対して情報を伝えていくこともある。with コロナで色々な不

思議なことが起こっており、問題になってきている。皆で問題を出し合うことは重要である。

【委員】

すごく良いディスカッションが行われている。

資料2-①健康増進プランの進捗状況で、夜9時前に就寝する3歳6か月の子供が、増加と書いてはあるものの11%しかいないことに驚いた。親が遅いから子供が遅くなっているのではと思う。やはり若い父母にどうやって伝えていくかが大事になってきている。保健センターだけでやっていくのではなく、学校や保育園の連携が大事であると感じた。「早寝・早起き・朝ごはん」の早寝がうまくいっていない。

資料2-①糖尿病性腎症新規透析患者の人数が2名減少はすごいことだ。糖尿病の対策もされている。毎年確実に新規患者が減っていることは医師会の医師との協力の成果であり素晴らしい。

資料2-①がん検診受診率が上がらない。資料3 がん対策推進事業もたくさん行っているが、実際受診率はあがらない。その分析はどう思っているのか？次年度はコロナの影響もあるが、今までの蓄積からみてもなかなか上がってこないが、コロナが治まった時の手をうっておく発想が大事ではないか？全体的によくやっていると思った。死亡率・健康寿命にも良い影響が出ているので、今後も知恵を絞ってやっていくことを望む。

【事務局】

子どもの寝る時間について、夜10時から2時が睡眠のゴールデンタイムなので9時前に寝ることが理想という観点で9時に寝る子供の数は含まれていない。実際のアンケートでは9時台に寝る子供は57.6%、10時以降は30.8%となり、全国の状況も同じである。「早寝・早起き」になるよう健診等で話をしていきたい。

がん検診の受診率が上がらない原因の分析については、深めていく必要がある。“令和2年度の保健事業のあらまし”のデータ内容を詳しく分析してターゲットをしぼり、ボランティア・関係機関にも協力をお願いしたい。

【委員】

がん検診が始まるのは遅かったが、終わる時期は例年どおりか？

【事務局】

医療機関のがん検診は12月で終了。集団のがん検診は追加で1月・2月も行う予定。

【会長】

集団検（健）診の期間の設定は非常に難しく、終了月が近づくと受診が集中する傾向がある。医師会で個別の検（健）診が終わってから集団検（健）診を勧めることが、住民に対するサービスとしては良いのではないか？

【委員】

がん検診の受診率について、国は胃がん・子宮がん・乳がん健診は2年に1度となった。データが出てきたときに必ず下がる。同じような目標値を設定すると受診率が落ちたように見える。目標値の設定を考えた方が良く、色々やってはいるが、アメリカではそれぞれの地域で保健師が受診勧奨を行い、受診率は50%を超えている。北欧では乳がん検診に関しては70%を超えている。すべての国民が意識をもっていく風潮があれば最高であるが、それぞれの取組をお願いしたい。

(5) 閉会